

折に触れ 四字熟語

NO. 210 『虎視眈眈』 こし たんたん

< 意味 > 強い者が機会をねらって形勢をうかがっているさま。とらは獲物をねらって、鋭い目でじっと見下ろす意から。

< 出典 > 『易経』頤えいきょう頤い

表 言 : 虎視眈々と党首の座をねらう

用 例 : 田沼意次は、ようやく、政治の世界に乗り込んで、その首座を手中にすべく、虎視眈々としている。<柴田錬三郎・曲者時代>

語 釈 : 「虎視」はとらが獲物をねらい見ること。「眈眈」はとらが見下ろすさま。ねらい見るさま。

一 言 : 今年の寅年に因んでの第2弾です。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」